



2015年2月新刊案内

建築技術 比較発達史 の研究

—ユーラシア大陸の西と東—

渡邊 晶 著

中央公論美術出版

前著『日本建築技術史の研究』(2013年重版)に続き、本書ではユーラシア大陸の西と東に研究対象を広げ、斧・鑿・鋸・カンナなどの建築用主要道具の発達史を明らかにし、つくられるモノ(木の建築)とつくるヒト(建築工人)の関連の中で、日本における建築技術史上の画期の背景や要因を広い視野から考察する。建築技術に関する貴重な図版を豊富に掲載した「資料編」を巻末に収録。

目次

まえがき

第1章 序論

- 第1節 研究の目的
- 第2節 研究史
- 第3節 研究の方法
- 第4節 本書の構成

第2章 ユーラシア大陸の西と東における斧

- 第1節 斧の基本形式
- 第2節 ユーラシア大陸の西における斧
- 第3節 ユーラシア大陸の東における斧
- 第4節 西と東における斧の比較発達史
- 第5節 木の建築をつくる技術と斧
- 第6節 小結

第3章 ユーラシア大陸の西と東における鑿

- 第1節 鑿の基本形式
- 第2節 ユーラシア大陸の西における鑿
- 第3節 ユーラシア大陸の東における鑿
- 第4節 西と東における鑿の比較発達史
- 第5節 うがつ道具としての鑿と錐
- 第6節 木の建築をつくる技術とうがつ道具
- 第7節 小結

第4章 ユーラシア大陸の西と東における鋸

- 第1節 鋸の基本形式
- 第2節 ユーラシア大陸の西における鋸
- 第3節 ユーラシア大陸の東における鋸
- 第4節 西と東における鋸の比較発達史
- 第5節 木の建築をつくる技術と鋸
- 第6節 小結

第5章 ユーラシア大陸の西と東におけるカンナ

- 第1節 カンナの基本形式
- 第2節 ユーラシア大陸の西におけるカンナ
- 第3節 ユーラシア大陸の東におけるカンナ
- 第4節 西と東におけるカンナの比較発達史
- 第5節 木の建築をつくる技術とカンナ
- 第6節 小結

第6章 ユーラシア大陸の西と東における墨斗

- 第1節 墨斗の基本形式
- 第2節 ユーラシア大陸の西におけるラインマーカー
- 第3節 ユーラシア大陸の東における墨斗
- 第4節 西と東における墨掛道具の比較発達史
- 第5節 水平・垂直・矩をはかる道具
- 第6節 木の建築をつくる技術と墨掛道具
- 第7節 小結

第7章 ユーラシア大陸における技術の流れ

- 第1節 ユーラシア大陸における森林の歴史
- 第2節 木の建築をつくる技術と加工精度
- 第3節 建築基礎と建て方
- 第4節 木の建築をつくる工程と道具
- 第5節 小結

第8章 結論

付記／あとがき／史料リスト／参考文献
表リスト／図版リスト／要旨／英文要旨
資料編／索引

著者略歴

渡邊 晶 (わたなべ あきら)

1953年鳥取県生まれ。1976年3月、福井大学工学部建築学科卒業。同年4月、文化財建造物保存技術協会勤務。国指定重要文化財建造物の調査と保存修復に従事。1985年4月より、竹中大工道具館に勤務。建築技術史と関連させて、道具の発達史を研究。2000年、東京大学から『近世における大工道具発達史の研究』で博士(工学)学位。主な著書に『日本建築技術史の研究』(中央公論美術出版、2004)、『大工道具の文明史』(吉川弘文館、2014)など、その他共著多数。2012年3月、財団法人竹中大工道具館を退職。同年4月、建築技術史研究所創設、所長として現在に至る。また、相山女学園大学講師をはじめ、講義・講演活動を積極的に遂行中。

建築技術比較発達史の研究 — ユーラシア大陸の西と東 —

渡邊 晶 著

本体 35,000 円+税

A4判上製函入 本文 496 頁 口絵カラー 48 頁 挿図 430 点

ISBN 978-4-8055-0735-3 C3052

関連書籍

日本建築技術史の研究 — 大工道具の発達史 —

渡邊 晶 著

本体 38,000 円+税 A4判上製函入 本文 512 頁 挿図 700 点

ISBN 978-4-8055-0465-9 C3052

お取り扱い

中央公論美術出版

〒104-0031 東京都中央区京橋 2-8-7

電話 03-3561-5993 FAX 03-3561-5834